

第4章 まちなみ別の配慮事項

(1) まちなみ別等の地区区分について

- ・ まちなみ別の地区区分については、市内全域を対象として「①住宅地区」「②工業地区」「③商業地区」と区分しており、概ね用途地域区分を基にした土地利用の特性に応じて区分しています。
- ・ さらに、地域の特性に応じた地区として、「④幹線沿道・鉄道沿線地区」「⑤歴史的地区」「⑥文化学術地区」「⑦緑・水辺地区」4種の特性を持つ地区として、土地利用の特性区分に上乗せする地区として設定しています。
- ・ なお、特定地区の「万博公園周辺地区」については、他の地区の配慮内容より優先するものとします。

まちなみ別地区区分

ま ち な み 別 の 地 区 区 分	(2) 土地利用の 特性に応じた 配慮事項	地区区分		ページ
		① 住宅地区		
		①-1 住宅地区（低層住宅地）		P.28
		①-2 住宅地区（中高層住宅地）		P.29
		② 工業地区		P.30
		③ 商業地区		
		③-1 商業地区（駅前周辺）		P.31
		③-2 商業地区（商店街）		P.32
		③-3 商業地区（近隣センター）		P.33
		③-4 商業地区（幹線道路沿い）		P.34



土地利用区分に地域特性地区を上乗せ区分

(3) 地域の 特性に応じた 配慮事項	地区区分		ページ
	④ 幹線沿道・鉄道沿線地区		P.35
	⑤ 歴史的地区		P.36
	⑥ 文化学術地区		P.37
	⑦ 緑・水辺地区		P.38



上記と別区分

特定地区区分

特定地区の 配慮事項	地区区分	ページ
	万博公園周辺地区	P.39

(2) 土地利用の特性に応じた配慮事項

① 住宅地区

①-1 住宅地区（低層住宅地）

景観形成の配慮ポイント

住宅地の落ち着いたあるまじきに調和させる

具体的な配慮事項

- 屋外広告物の色彩等は、周囲の住宅等やまちなみ景観との調和を図る。
- 屋外広告物は、木材や石材等の自然素材を活用し、安らぎが感じられる住宅地の雰囲気を守る。
- 照明等は、必要最小限の光源とし、住宅側に光が拡散しないようにするとともに、深夜の時間帯は消灯するなど、住環境に配慮する。
- 住宅地に近接して設ける駐車場は、屋外広告物や関連施設の外観色彩を低彩度にし、外観意匠もシンプルなものにするなど、周辺と調和を図る。

〈吹田市屋外広告物条例〉

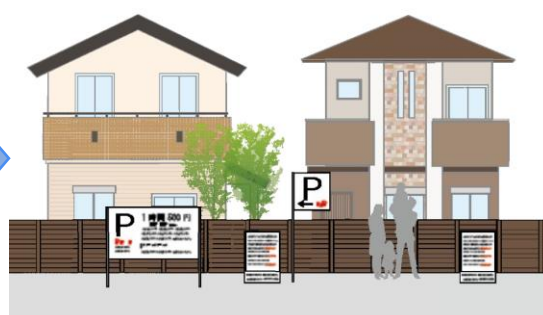
- ・ 第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域などは禁止区域。（自家用広告物は表示面積の合計 5 m² 以内まで設置可能）

屋外広告物による景観形成のイメージ例



×悪い例

- 広告物の色彩に黄色等の高彩度色が大きな範囲で使われると、背景の低彩度の外観色彩との調和が損なわれます。



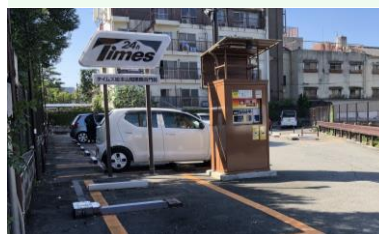
○良い例

- 広告物の盤面の地色を白色や低彩度色とすることで背景のまちなみの落ち着いた外観色彩と調和しつつ、視認性も確保できます。

地区区分図



具体的な配慮事例



表示面の地色を白色にしている事例



広告物と周辺機器の外観色を茶系の色彩に合わせて周辺景観に調和している事例

①-2 住宅地区（中高層住宅地）

景観形成の配慮ポイント

様々な用途や規模の建築物が共存する地域に配慮しながら、まちなみの調和に寄与する屋外広告物の景観づくりを目指す

具体的な配慮事項

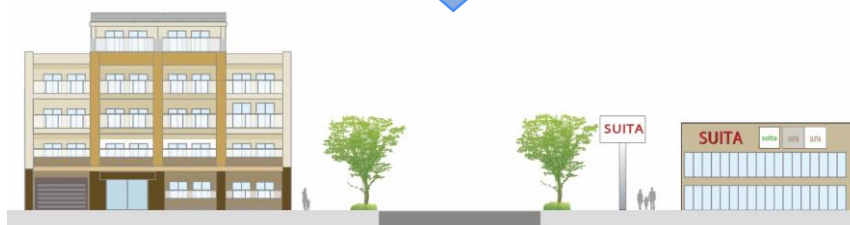
- 屋外広告物の色彩等は、周囲の住宅等やまちなみ景観との調和を図る。
- 住宅地に近接する商業・業務施設の屋外広告物は、必要最小限の数とし、規模を小さく設置高さ等に留意するなど、際立たせすぎないように工夫し周辺のまちなみとの調和を図る。
- 照明等は、必要最小限の光源とし、住宅側に光が拡散しないようにするとともに、深夜の時間帯は消灯するなど、配慮する。
- 商業・業務施設が多い場所では、隣接する店舗同士で掲出位置や大きさを揃えるなど、賑わいの連続性を創出する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例



× 悪い例

● 広告物の規模や色彩が際立ち不揃いであるため、まちなみとの調和を乱しています。



○ 良い例

● 規模や色彩を揃えることで、住宅地やまちなみとの調和に配慮します。

具体的な配慮事例



外観の色彩に合わせてシンプルな箱文字サインを配置した事例



広告物の大きさをそろえてシンプルに見せている事例

② 工業地区

景観形成の配慮ポイント

周囲に圧迫感を与えないように配慮する

具体的な配慮事項

- 工場や倉庫等の建築物に設置する屋外広告物は、必要最小限の数とし、規模を小さく設置高さ等に留意するなど、圧迫感を与えないように周辺の景観との調和を図る。
- 表示面の地色は、建築物の壁面と同系色の落ち着いた色彩とする。
- 建築物の高層部に設置する広告物は、シンプルなデザインの箱文字・切り文字とするなど、隣接する建築物や周辺のまちなみに配慮する。
- 地上設置型広告物等を配置する場合は、必要最小限の数とし、シンプルなデザインにするとともに、外構の植栽や周辺のまちなみに配慮したデザインにする。

屋外広告物による景観形成のイメージ例

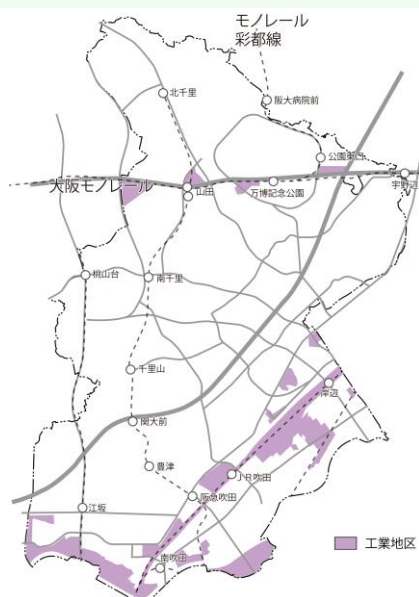


- 広告物の色彩や規模が際立ち、まちなみや通行する人に圧迫感を与えています。



- 建築物や工作物等の外観色彩に調和させたり規模を適切な大きさにすることで、周辺との調和を図ることができます。

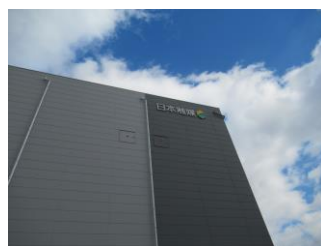
地区区分図



具体的な配慮事例



シンプルな切り文字のデザインとしている事例



壁面と同系色の落ち着いた色としている事例

③ 商業地区

③-1 商業地区（駅前周辺）

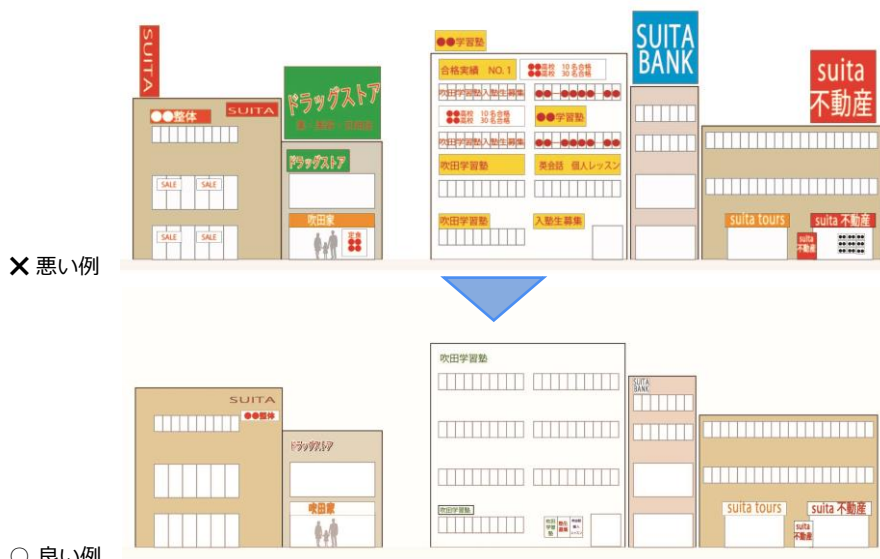
景観形成の配慮ポイント

まちの玄関口として、にぎわいと品格を感じさせるまちなみを演出する

具体的な配慮事項

- 駅前広場や駅舎等に面する建築物に設置する広告物は、そのまちの特性を理解した上で、主に低層部に設置するなど、連続的に賑わいを演出するように配慮する。
- 建築物の高層部に設置する広告物は、シンプルなデザインの箱文字・切り文字とするなど、隣接する建築物や周辺のまちなみに配慮する。
- 複数のテナントが屋外広告物を表示する場合は、掲出位置や大きさ等を統一し、低層部に集合化する。

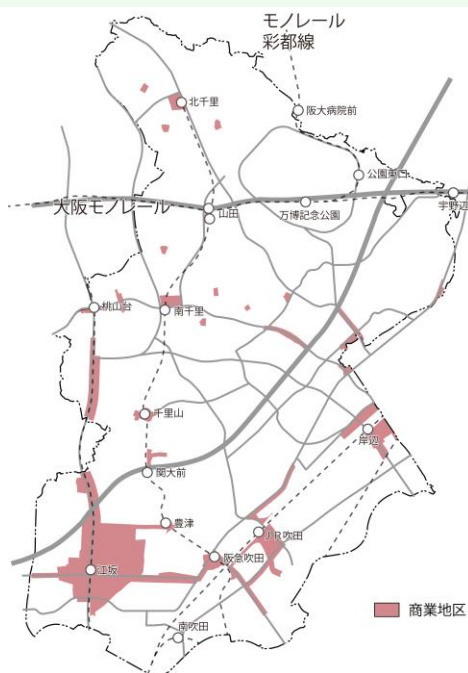
屋外広告物による景観形成のイメージ例



- 屋上広告物等が無造作に配置されると沿道建物のスカイラインが乱れ、まちなみの連続性が損なわれてしまいます。
- 過剰な配置や規模の大きな広告物はまちなみの調和を乱しています。

- 高層部の広告物は可能な限り壁面広告とし、切り文字や箱文字とするなど、シンプルなデザインとします。
- 必要最小限の規模、配置とし、まちなみとの調和に配慮します。

地区区分図



具体的な配慮事例



箱文字デザインにして大きさや幅を揃えて配置した事例



テント等でまちの賑わいを演出している事例

③－２ 商業地区（商店街）

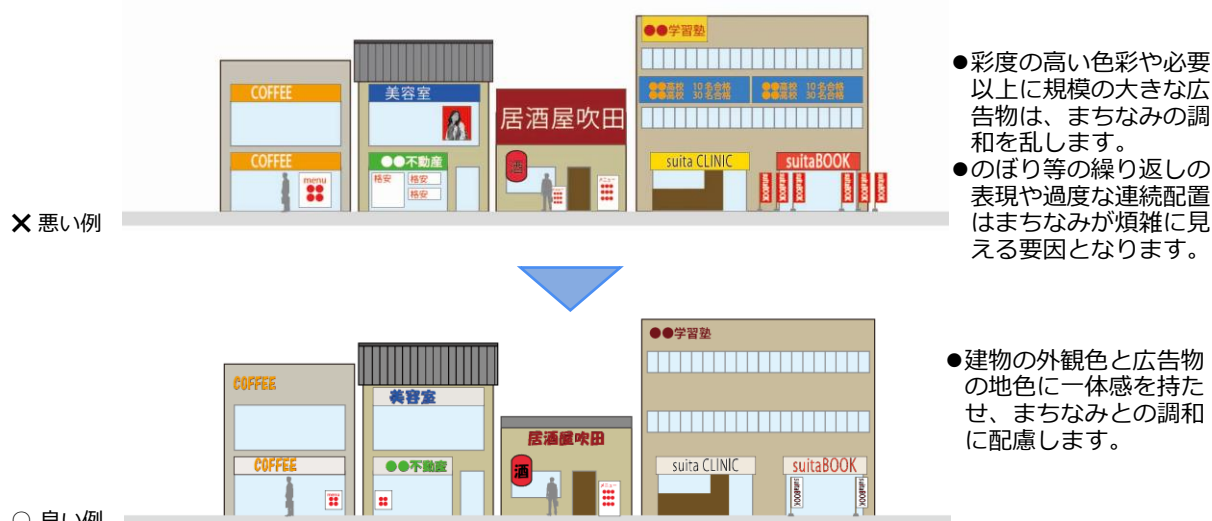
景観形成の配慮ポイント

個性豊かでにぎわいを感じさせるまちなみを演出する

具体的な配慮事項

- 屋外広告物の色彩や素材は、建築物の外観意匠と一体的にデザインし、まちなみや周辺景観との調和を図る。
- 隣接する店舗同士で掲出位置や大きさを揃えるなど、賑わいの連続性を創出する。
- 色彩や文字情報を抑えたバナーフラッグで通りの魅力を演出する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例



具体的な配慮事例



日よけやパラソルでにぎわいを演出している事例



バナーフラッグ等で通りのにぎわいを演出している事例

③-3 商業地区（近隣センター）

景観形成の配慮ポイント

地域の取組みや地域資源を活かし、周辺の住環境と調和した景観づくりを目指す

具体的な配慮事項

- 屋外広告物の色彩や素材は、建築物の外観意匠と一体的にデザインし、まちなみや周辺の住宅景観との調和を図る。
- 屋外広告物は、必要最小限の数とし、規模を小さく、設置高さ等に留意するなど、際立たせないよう工夫する。
- 照明等は、必要最小限の光源とし、住宅側に光が拡散しないようにするとともに、深夜の時間帯は消灯するなど、配慮する。

具体的な配慮事例



建物との一体感のある広告物のデザイン事例



広告物の規模を最小限にとどめ、外観等の意匠に配慮している事例

③-4 商業地区（幹線道路沿い）

景観形成の配慮ポイント

まちのイメージを活かしつつ、にぎわいあるまちなみを演出する

具体的な配慮事項

- 道路に面する建築物に設置する広告物は、主に低層部に設置するなど、にぎわいを連続的につなげるように配慮する。
- 建築物の高層部に設置する広告物は、シンプルなデザインの箱文字・切文字にするなど、隣接する建築物や周辺のまちなみに配慮する。
- 複数の屋外広告物を集合化するなどまちの骨格として秩序ある空間を創出する。
- 交差点付近や道路がカーブする箇所などのアイストップでは屋外広告物の数や大きさ、色彩や設置位置を工夫し、魅力的なまちかどを演出する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例

× 悪い例



- 広告物を目立たせたいあまり、派手な色彩を使ったり、多くの情報を掲載することで、まちなみの調和を乱しています。

○ 良い例



- 場所や対象者にふさわしい大きさとしします。
- 視認性や判読性を考慮した文字の大きさ・情報量としします。（P.14「適切な文字数とは」・P.43「判読性の向上」参考）

具体的な配慮事例



外観の色彩に調和させるように、色彩に配慮したシンプルな箱文字サインの事例



地上設置型広告物の設置高さを低く抑えて、車や歩行者からの見え方に配慮した事例

(3) 地域の特성에応じた配慮事項

④ 幹線沿道・鉄道沿線地区

景観形成の配慮ポイント

沿道のまちなみとの一体感や歩行者などへの配慮を図り、まちの骨格として秩序ある空間を目指す

具体的な配慮事項

- 沿道沿線の屋外広告物は、見通しの景観に配慮し、圧迫感を与えないよう道路の幅員に応じて大きさや高さを整える。
- 複数の屋外広告物を集合化するなどまちの骨格として秩序ある空間を創出する。
- 交通信号機等付近の広告物は、それら標識等の設置高さより低く抑え、標識等の近似色とならないよう色彩の彩度を低くする。
- 街路樹のある場所では、屋外広告物の地色に落ち着いた色彩を用い、街路樹の上部から著しく突出しない高さにするなど、緑と調和するよう配慮する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例

× 悪い例



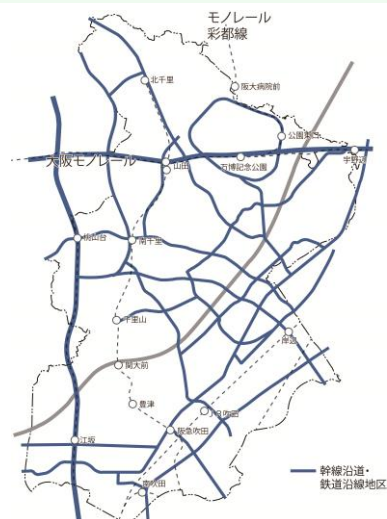
- 広告物の規模や色彩が際立ち、まちなみとの調和を乱しています。

○ 良い例



- 地色に落ち着いた色彩を用い、沿道のまちなみに調和させます。
- 信号機付近の広告物は信号機の高さより低くして、信号機を見やすくするよう配慮します。

地区区分図



具体的な配慮事例



地色に落ち着いた色彩を用い、緑と調和している事例



まちなみに応じて高さや色彩に配慮した事例

⑤ 歴史的地区 景観形成の配慮ポイント

歴史的な地域資源の周囲の風致を損なわないように配慮する

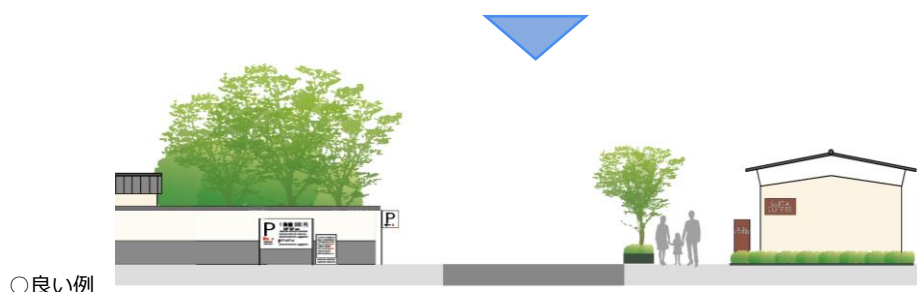
具体的な配慮事項

- 屋外広告物の素材等は木材などの自然素材を活かした意匠にする。
- 表示面の地色は、無彩色や低彩度とし、周辺のまちなみとの調和を図る。
- 色彩はコントラストを和らげた色使いとする。
- 表示面に過剰な情報を盛り込まないようにし、骨組みや照明器具を直接みせないようにデザインする。
- 照明等は必要最小限の光源とし、周辺に光が拡散しないようにするとともに、深夜の時間帯は消灯するなど、周辺環境に配慮する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例

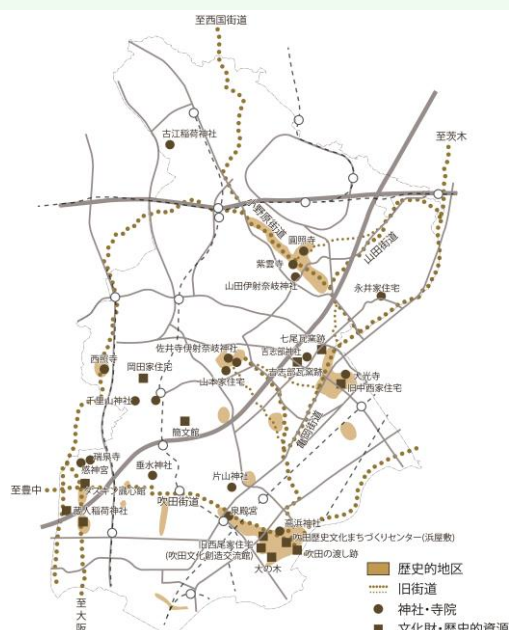


- 広告物の規模や色彩が際立ち近接する歴史的景観との調和を乱しています。



- 広告物の素材に自然素材を活用したり、地色を低彩度にするなど、周辺の歴史的資源との調和に配慮します。

地区区分図



具体的な配慮事例



板塀に設けられた木素材の広告物の事例



格子状のデザインの中にロゴマークやサインを配置し和風の印象を演出している事例

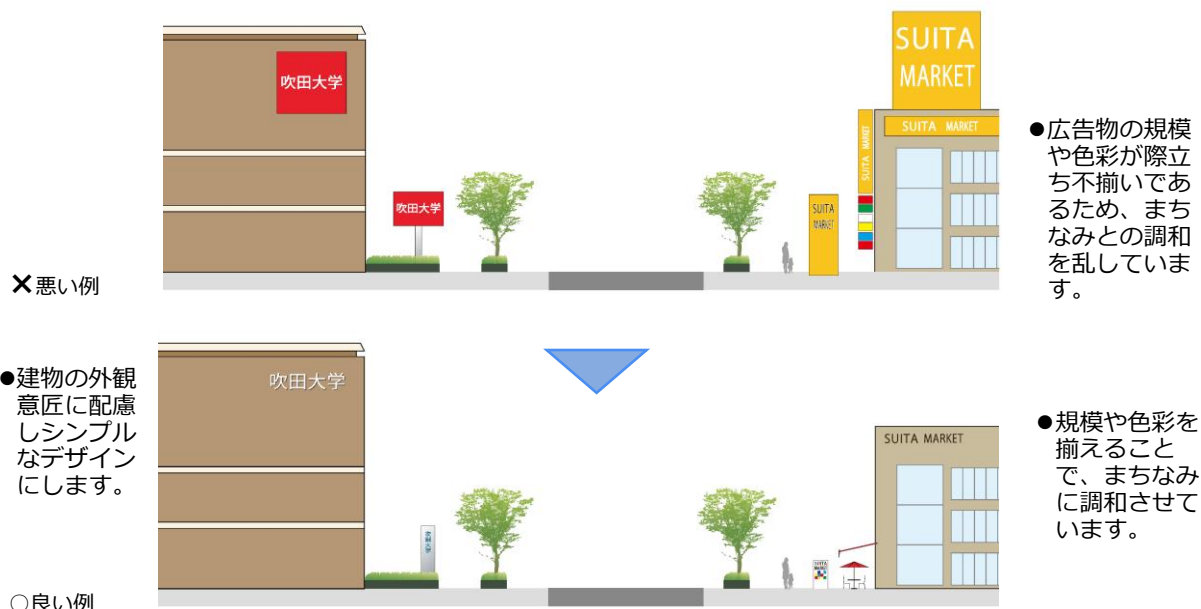
⑥ 文化学術地区 景観形成の配慮ポイント

地域に開かれた学術施設として、オープンな印象の施設を形成する

具体的な配慮事項

- 屋外広告物は、必要最小限の数とし、規模を小さく設置高さ等に留意するなど、際立たせないよう工夫する。
- 学術施設には宣伝広告を無くし、所在表示や管理表示は自然環境との調和に努める。
- 照明等は、必要最小限の光源とし、光が拡散しないようにするとともに、深夜の時間帯は消灯するなど、周囲の住環境に配慮する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例



地区区分図



具体的な配慮事例



シンボリックに施設名が表示されている事例



周囲の自然環境に配慮し、植栽地に設置された事例

⑦ 緑・水辺地区

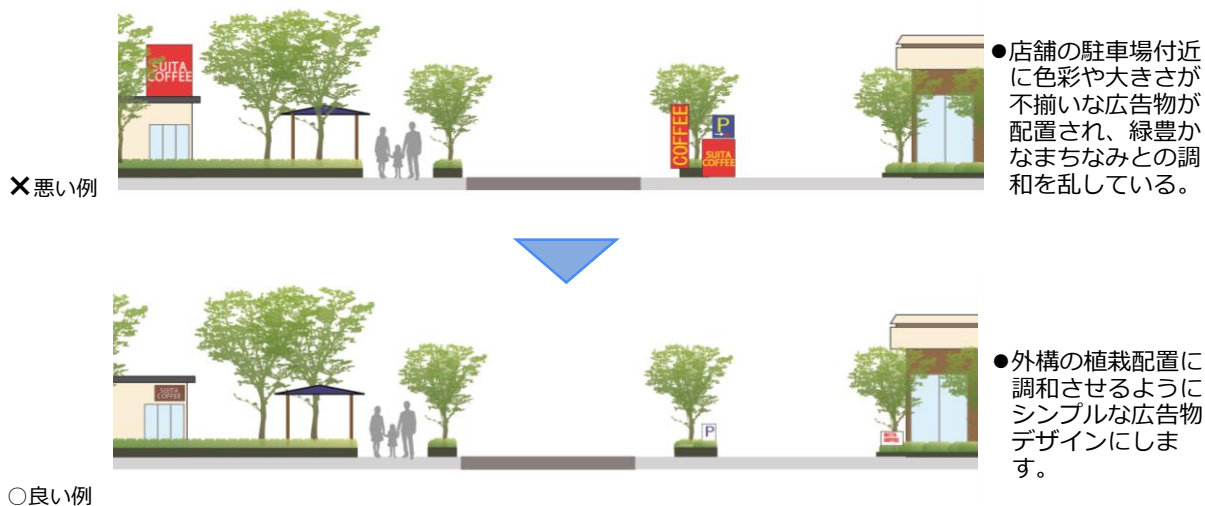
景観形成の配慮ポイント

緑や水辺に調和した景観づくりに配慮する

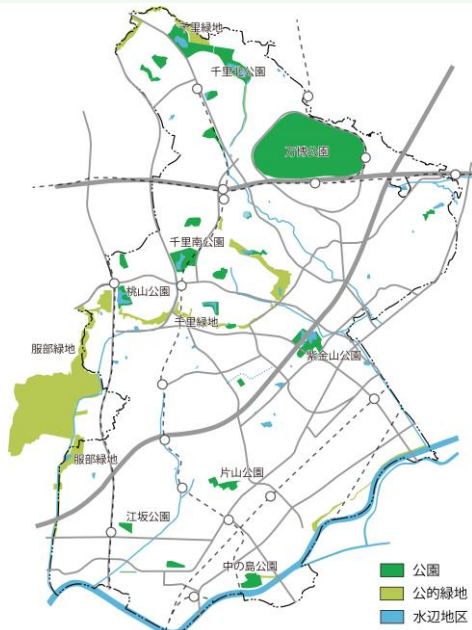
具体的な配慮事項

- 高さや大きさを抑え公園・緑地や水辺からの眺めに配慮し、良好な周辺景観をつくる。
- 使用する色数や鮮やかさを抑えることに加え、自然素材を使用するなど、緑や水辺との調和を図る。
- 公園・緑地や水辺に近接して設ける駐車場は、屋外広告物や周辺機器の外観色を低彩度にし、周辺の緑や水辺との調和を図る。
- 照明等は必要最小限の光源とし、周辺に光が拡散しないようにするとともに、深夜の時間帯は消灯するなど、周辺環境に配慮する。

屋外広告物による景観形成のイメージ例



地区区分図



具体的な配慮事例



カフェの駐車場付近に設置されたシンプルなデザインの広告物の事例



公園内のカフェの外観サイン事例